小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	西小林中学校区	担当班	議員名	担当
参加人数	17人		蔵本 茂弘	司会進行
開催日	平成30年7月9日(月)		坂下 春則	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時30分		吉藤 洋子	記録・報告書作成
会場	西小林地区公民館		原 勝信	
その他			時任 隆一	
		2班		

◎班代表者 蔵本 茂弘

意見交換会の内容		※ ☐ 市民の意見 ■ ☒ 議員の意見
テーマ	「プラごみの出し方について」・「外出しやすいまちづくり」	
【意見交換の概要】		
テーマ：プラごみの出し方について		
<p>☐ペットボトルやトレイのラップの再利用について納得ができない。再利用されないのであれば洗う必要がないのでは。</p> <p>☐現地の仕事をしているが、たまに心無い方が丸めている物もあるものの、きれいに洗ってある。但し、えびのが一番きれいに洗って乾燥している。次が高原で小林が一番汚い、乾燥が足りない。</p> <p>☐子ども達も習慣づけることで自然とリサイクルできるようになってきている。小林市独自の教育も必要。子どもにもなぜ分別が必要なのか、リサイクルが必要かを教え地球温暖化防止、環境汚染防止の目的を持った教育が必要ではないか。</p> <p>☐消費者にだけではなく、業者にも簡単に剥がせる、または余計な包装をしない指導をしてほしい。</p> <p>☐新しい虎の巻が配布された。担当課も配布するだけでなく、出前講座や回覧板等のチラシも、子どもや、親にも分かりやすいものを年に何回か出してほしい。週知徹底を図っていただきたい。きれいに洗って出すのは大賛成であり、やめるのはいかがなものか。</p> <p>■本市は市民の方の協力で全国トップクラスである。環境にやさしいまちとしてひとつの大きな目標も達成できている。委員会などで活用させていただき、当局にも伝える。</p> <p>☐きれいに洗って出すためには水道代が高くなる。小林市に住むのであれば水道代を安くしてもらいたい。</p> <p>☐他所の人から見たら「めんどくさい」と思ってる人もいる。細かい所を決めて検討していただきたい。</p> <p>☐地区によっては、リサイクルされていないゴミが混入している。地区ごとの説明会が必要ではないか。</p> <p>☐収集されていないのゴミは、名前や番号のないものが多いがどういう対策を取ればいい</p>		

のか。

組未加入でゴミ処理に困っている人もいるのではないか。

■ 今の体制をしっかりとしながらどこまで改正できるかだと思う。議会でも議論していきたい。

テーマ：外出しやすいまちづくり

地域によっては、介護施設の車を借りて週一回、高齢者、障がい者が買い物など行っている。

社会福祉協議会のサロン等車輛貸出支援事業は、10時から15時まで車を自由に使い買い物等に行くことができる。これからの高齢者対策としてにっこばまちづくり協議会でも取り組んで行こうと考えている。

免許返納だけを訴えず、病院や買い物へ行く手段も考えてほしい。また、コミュニティバスも利用が少ないからと、辞めて欲しくない。

■ 出された意見については、議会でも議論していきたい。

自由意見の交換

※ 市民の意見 ■ 議員の意見

田舎で不自由されている高齢者の方で「地元でないとどうしてもいかん」と言う方を除き、1人暮らしや高齢者をできれば中心地に移住していただく等の手段は考えられないのか。

都農町がふるさと納税で躍進しているが小林市と都農町の違いはなんなのか。現在、所得税も払えない方もいっぱいいる。当局の方に都農町を視察してほしい。

防犯灯の電気料について、九州一安心安全なまちを進めるのであれば、市が負担すべきでは。

まちなかは煌々としているが、田舎は防犯灯が多く多額の負担をしている。考えてほしい。

小林市は、防災無線の計画はないのか。

■ 今後、議論していきたい。